大蔵地域自治協議会報



第14号



●発行日:平成23年12月5日

●発 行:大蔵地域自治協議会

広報委員会

●住 所:朝来市和田山町宮田186番地3

大蔵市民会館

TEL 079-672-5651(ファックス兼用)

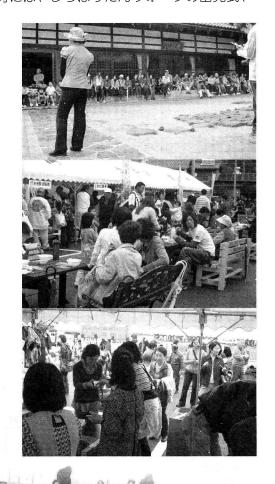
じろはったん村まつりを開催しました。

11月6日(日)第1回大蔵じろはったん村まつりを開催しました。東日本大震災の発生に伴い、4月3日開催のまつりを秋に延ばしていたもので、小雨模様の9時前には早い区の準備が始まり、屋台のテントの立ち上げを今や遅しと待ち構えている各区の販売担当者の姿も見受けられました。それぞれのブースで出店物の陳列や、器具の調整が終わり販売の体制が出来上がりました。10時には、じろはったんウォークの出発式、

10時15分ウォーク出発、11時に宮田区内を巡って法泉寺の境内で森はな作品の「ほいとうげ」の紙芝居をじろはったんの会の皆さんが朗読、小さな参加者も熱心に聞き入っていました。紙芝居の後はミュージカルで大阪、神戸や、豊岡からのミュージカル研究会員の熱演が行なわれました。このころには雨も上がって薄日が射す天候になっていました。12時ちょうどに会場に帰り着いて昼食を屋台で摂ろうとしましたが、多くの人出により大盛況で売り切れが続出していて、早速には食べられない方も多く出る始末でした。

12時40分再び空模様が不安になって来たため、さんさん会の「よさこいソーラン踊り」を開始、会場内に「元気」をもらいました。13時 石井孝一但馬県民局長、多次勝昭朝来市長の来賓あいさつの後、大蔵ふるさとネットワークによる6斗分の餅まきが催されました。餅まきの終了を待って、文化祭の芸能発表会へと催しは続いていきました。

村まつりに参加頂きました多くの皆様に感謝申し 上げます。ありがとうございました。



▲生活安全部会

部 会 長/福山 勝副部会長/藤原新吾

意外に知らなかった地元大蔵

1. 大蔵地区内の危険箇所の現地確認

今年の活動計画にある「地域安全対策事業」の中の、各地区危険箇所チ

ェックを11月に行いました。夏に各地区に危険箇所のアンケートを取り、その内容をもとに現地確認を行いました。確認を行ったメンバーも、自分の住んでいる地区のことは分かっても、他地区では初めて足を運んだ場所も多々有り、大蔵のことを知っているようで知らないことがよく分かりました。アンケートには危険箇所の他に、防犯・防炎上の問題点や心配されること、また交通問題も記入して頂きました。今回はアンケートを元に自治協として把握し、解

決出来ることと出来ないこと、各地区で解決してもらう課題と自治協が取り組む課題等を整理し、取りまとめたいと思います。

2. 防犯警報装置の第2弾設置

一昨年、土田下地区に設置したのに続き、今年度は高瀬~高田間に防犯警報装置を設置することが出来ました。警報装置としての役割の他に、防犯灯がついているので暗い夜道が少しは明るくなったと思います。また出来るだけ早く法道寺~岡間の通学路にも設置したいと思います。



▲ 高瀬~高田間の防犯警報装置

3.年末パトロール実施中

今年も例年通り、月初めから年末パトロールを実施しています。みなさん、良いお正月が迎えられますように、火の元・戸締りには十分気をつけましょう。

グラウンドゴルフ大会・愛の即売会

グラウンドゴルフ大会を開催

10月23日(日)大蔵地区の親睦とスポーツの秋を満喫・健康増進を目的としたグラウンドゴルフ大会が、養父市堀畑の円山川グラウンドゴルフ村で開催されました。

参加人数は79名。当日は大会開始の合図とともに小雨が降り出し、 しだいに本降りとなり、予定の32ホールの半分の16ホールで切り上げ とし、それまでの総打数による成績発表となりました。雨足が強くなる 中集中力を持続することが難しい中ではありましたが、1打1打和気あ いあいと楽しい大会でありました。

大蔵地区『愛の即売会』

朝来市社会福祉協議会主催の『愛の即売会』が11月11日(金)に大蔵小学校体育館で開催され自治協も支援しました。

多くの方に来場していただき、お寄せいただいた日用品・衣類・新鮮な農産物などが、開始とともにみるみるうちに購入されていきました。 今年度の収益金は、社会福祉協議会を通じ、障がい者の就労訓練の場である『とまり木サロンわだやま』の事業運営に使われるとのことです。

ご協力いただきました皆様方に感謝をされていました。

♥ 健康福祉部会

部 会 長/小山 優副部会長/河島邦洋



▲ 雨の中開催されたグラウンドゴルフ大会



▲ 賑わった愛の即売会

◇交流と魅力づくり部会

部 会 長/横尾正信副部会長/斉藤 修

じろはったんベンチ作りと、室尾山登山

秋日の10月初旬、じろはったんベンチ作りを行いました。

まず両脚を組み、座板・背板をビス留めする手順。段取りは分って

いても、いざ作業に取り掛かると左右や上下を間違えたりと、四苦八苦しながらも何とか一基完成。その後は、皆さん久々に「日曜大工」のスイッチが入ったのか順調そのもので、15基を組み上げました。午後から

は女性陣中心にサンダー掛けと昨年同様にじろはったん色の「黄色」にペンキ塗りして出来上がりました。手や靴についたペンキの色は殊勲の印?と自己満足。また、このベンチをそれぞれの地域で憩いの場として活用して頂ければありがたいです。

10月29日(土)には、第1回「里山を楽しむ会」を開催し室尾山(627m)に登りました。参加者は5歳~75歳の21名(最年少は宗像この葉ちゃん)で、よく整備された登山道を森林浴しながら歩きました。当日は最高の登山日和で、紅葉にはまだ早かったものの、楽しみながら頂上に立つことができ、皆さん達成感に満ち溢れた笑顔でした。

午後からは、室尾山にある史跡の法宝寺跡、室尾城跡、八幡神社を横尾部会長に案内、説明をしてもらい、「あかまつ散歩道」から下山しました。



▲ 室尾山の頂上にて

水棲生物観察と収穫の秋

10月7日、台風12号の影響で延びていた円山川での生き物観察会を3年生42名が好天の下行いました。今年は台風により川底が綺麗に洗われていたた

♣ 環 境 部 会

部 会 長/雑賀忠文副部会長/藤原秀雄

めか、昨年はいた、メダカやシジミ貝やザリガニはいませんでしたが、福知山市では絶滅危惧種となっている"ずながにごい"と言う頭が長く姿は鯉に似た5~6センチの珍しい魚など全部で25種類の生き物を確認でき、びしょ濡れになりながら元気に帰って行きました。

また、17日には1年生30名とこども園の3、4、5、歳児が、さつまいも堀りを行いました。1年生のいもは一番端の畝に植えていたためか、もぐらに食べられ

たものが多く、「もぐらさんも美味しいものをよく知っているんやなあー」と言いながら小さな手で一生懸命に掘っていました。大きないもをそれぞれに持って記念撮影をして嬉しそうに帰りました。

しそつに帰りました。 翌18日には2年生の落花生の収穫と5年生の稲刈りを行 ▲ 3年生の生き物観察会

◀ 2年生の落花生の収穫

いました。落花生は肥料がよく効いたのか大きな株に育っていたので期待しながら掘り起こしました。茎を持って引っ張ると思ったより楽に抜けました。茎から実だけ取って持ち帰りました。また、5年生は宮田区民や環境部会員の指導を受けながら慣れない手つきで昼前までの約2時間稲刈り体験をし、米を収穫するまでの過程や苦労が少し分かったのではないでしょうか。

今回収穫した食材を使ってどんな料理ができるか楽しみです。

平成23年大蔵地区文化祭開催

11月5日~6日に開催された文化祭には、 366点の作品の出展がありました、また芸能 発表会には9団体に出演していただきました。 今年はじろはったん村まつりとの同時開催と いうこともあり、例年以上の来場者で賑わい ました。

ご協力いただいた皆様に感謝いたしますと ともに、また来年も文化祭を盛り上げるため 区民皆様のご協力をお願い申し上げます。





大蔵地区内の各区の歴史や現況などを 各区長さんが紹介するコーナーです。 今回は土田区を取り上げました。

魅力ある土田区へ!! 土田区長 細見 昇

当区の名称は、難読地名の一つで神戸新聞社発行の「兵庫の 難読地名がわかる本」に掲載されており、一般的には「土田」 を読める人は少ないようです。

また、以前は「土田」には写真の通り「土に点、」がついていたことを知る人は少ないのではないでしょうか。地名の由来については前記の「兵庫の難読地名がわかる本」によりますと「土を採った跡の埴笛が転訛したものである」と記載されております。



▲ 土に点、の付いた土田橋欄干



▲ 秋まつりの子ども屋台

当区は、186戸、約490人の集落で市道東谷一宮田線(旧国道9号線)沿いに細長く立地しております。「川下祭り」、「納涼大会・盆踊大会」、「土田区運動会」、「秋祭り」等諸行事を通じて区民同士の融和を図り「絆」を確認、更に深めまた環境整備に努め若者が「土田」に住みたいと思える地区(ロターン、ロターン者にも魅力ある「まち」)を目指しております。

当地区は歴史的にも古く、多くは紙面の都合で詳しくは説明出来ませんが、江戸時代には、旗本土田小出家の(領地1,800石)陣屋が置かれておりました。幕末には小出大和守が函館奉行、外国奉行、北町奉行、ロシア使節等要職で活躍されております。歴史に興味のある方は、一度研究されてみてはいかがでしょうか。

お知らせコーナー 「3はふたん」 「女化べい 1x 150層 3x 400層 ● お問合せ 大蔵地域自治協議会

TEL/FAX 079-672-5651

「池田古墳シンポジウム」を開催

日時 平成24年1月22日(日) 午後(時刻未定)

会場 大蔵市民会館

内容 基調講演とシンポジウム

菱田哲朗 京都府立大学准教授

山田清朝 兵庫県立考古博物館

高田一民 五斗長(ごっさ)まちづくり協議会(淡路市)

朝来市教育委員会

出土遺物等の展示(市教委、県立考古博物館)